

国際関係の新展開

大航海時代を迎えたヨーロッパで、ポルトガルは早くに進出した。インドのゴアに次ぎ、マレー半島のマラッカにも到達し、ポルトガルは香辛料獲得の目的を一応果たした。ところが、マラッカにおける中国商人・琉球商人との接触で、進路がさらに東アジアへと向けられ、やがてポルトガルは日本と接触することになる。

○大航海時代

●香辛料を求めて

インド・東南アジアの香辛料、中国の絹織物をヨーロッパ人は欲した。

→14世紀以来、オスマン帝国がこれらの交易に重税をかけた。

→ヨーロッパ諸国は、オスマン帝国を経由しない「海上」に目を向けた。

⇒ヨーロッパは大航海時代を迎えた。



図1 香辛料と絹織物



図2 オスマン帝国（斜線部）と大航海時代

海上に早く進出した国は、⁽¹⁾ _____ と ⁽²⁾ _____ である。

- (1) の航路…メキシコ・太平洋横断 (1492年、コロンブスが新大陸に到達)
⇒フィリピンのマニラが貿易拠点
- (2) の航路…喜望峯経由 (1498年、ヴァスコ=ダ=ガマがインド西岸に到着)
⇒インドの**ゴア**が貿易拠点、マレー半島のマラッカにも進出

香辛料確保の目的はすでに果たされたが…

(2) は中国の生糸・絹織物を求め、明から**マカオ**での居留を許された。

⇒(2) 人が中国へ往来するなか、嵐に遭った船が日本の漂着した。

◇マカオ… (2) にとって、後に日本との貿易拠点

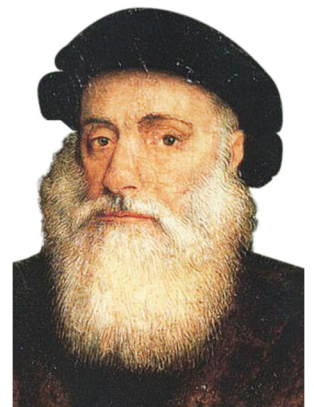


図3 ヴァスコ=ダ=ガマ

○南蛮貿易の始まり

●南蛮人との出会い

1543年、⁽³⁾ _____ 人を乗せた中国船が⁽⁴⁾ _____ に漂着した。

⇒島主^{たねがしまときたか}種子島時堯が彼らから⁽⁵⁾ _____ を買ったことで、

日本に初めて西洋式の銃が伝わり、瞬く間に各地で製造された。

◇(5) …足軽鉄砲隊の登場、城の変化（壁の強化など）を促進

…有名な生産地は、和泉国⁽⁶⁾ _____ ・近江国⁽⁷⁾ _____ ・紀伊国根来^{ねごろ}



以後、ポルトガル人が九州各地の港に来港して貿易をおこなった。

→また、スペイン人も1584年に肥前国⁽⁸⁾ _____ に来航し、貿易を開始した。

⇒当時、ポルトガル人・スペイン人は⁽⁹⁾ _____ と呼ばれたので、

彼らとの貿易を⁽¹⁰⁾ _____ という。

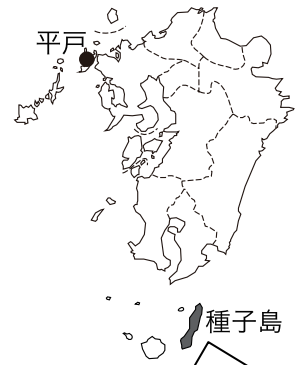


図4 南蛮人の来航

●南蛮貿易の輸出品

南蛮から日本…火薬・鉄砲、中国産の生糸など／日本から南蛮…⁽¹¹⁾ _____

◇明が私貿易を禁止する海禁政策をとったので、南蛮は日本への中継貿易を担当

◇スペインはメキシコで銀を手に入れたので、日本への進出が遅延



図5 銀

●貿易とキリスト教布教の一体化

1549年、カトリックである⁽¹²⁾ _____ (耶穌会) の

⁽¹³⁾ _____ が⁽¹⁴⁾ _____ に到着した。

⇒(13) は豊後国の戦国大名⁽¹⁵⁾ _____ (_____) や、

周防国の戦国大名⁽¹⁶⁾ _____ 氏 (大内義隆) の保護を受けて布教を開始した。

◇プロテスタントに対抗するため、カトリックはアジアでの布教に熱心

◇戦国大名によるキリスト教保護は、南蛮からの軍需品供給が目的



(13) の後、ガスパル=ヴィレラ、⁽¹⁷⁾ _____ らが布教に努めた。

→教会堂である南蛮寺、神学校（初・中等教育学校）の⁽¹⁸⁾ _____、

宣教師養成・高等教育学校の⁽¹⁹⁾ _____ が建てられた。

⇒キリスト教を信仰する大名⁽²⁰⁾ _____ も登場した。

◇(20) …⁽²¹⁾ _____ は洗礼名 Francisco の略「FRCO」の印判を使用



⁽²²⁾ _____ の勧めで、(20) の⁽²³⁾ _____ ・有馬晴信・大村純忠は、

天正遣欧使節（少年使節4人）をローマ教皇のもとに派遣した。



図6 聖ザビエル像
*日本で作成した肖像画



図7 南蛮寺



伊東マンショ（主席正使）



千々石ミゲル（正使）



中浦ジュリアン



原マルチノ